

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします

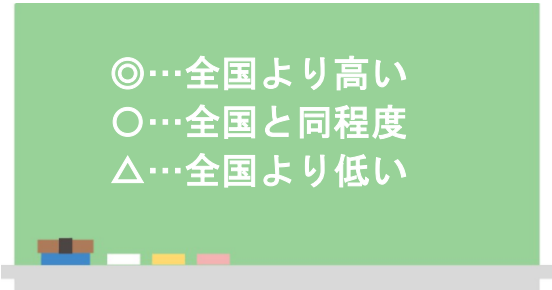
調査実施日：令和6年4月18日（木） 参加状況：小学校・義務教育学校6年生 141人 中学3年生・義務教育学校9年生 177人

伊豆市教育委員会

この調査は、子供たちの学力を把握するための「教科に関する調査（令和6年度は国語、算数・数学）」と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」で構成されてます。この調査結果をふまえ、学校と家庭、地域が連携しながら、子供たちの学力向上や豊かな心の育成、規則正しい生活習慣の定着を目指していくことが望めます。

1. 教科に関する調査結果

平均正答率	小学校・義務教育学校6年生		中学3年生・義務教育学校9年生	
	国語	算数	国語	数学
令和4年度	○	○	○	◎
令和5年度	○	○	○	△
令和6年度	△	△	◎	○



（1）国語

- 話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめることがよくできました。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することに課題がありました。

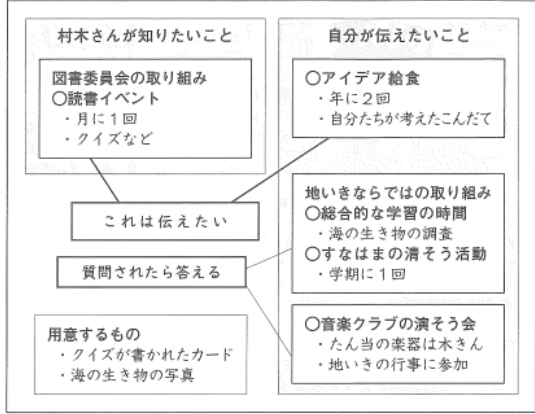
資料1は小学校1ー1の問題です。学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する問題です。目的や意図、聞き手の求めていることに応じて集めた材料をどのように整理すればよいかを考えることが求められます。

この問題の正答は3ですが、1という誤答が多くみられました。誤答の要因として、「和田さんが、お互いの学校の取り組みのよい点を比べて伝えようとしている」と捉えており、相手が知りたいことを取り入れて、優先していることを明確にしていることを捉えることができていないと考えられます。

そこで、メモの内容に着目し、キーワードと関連付けて必要な情報を見つけることが大切になります。そのために、イメージや音声言語を、文字化、図式化する習慣を身に付けることで、情報を分類したり整理したり関係づけたりする力を育成することができると考えます。

【資料1】

【和田さんのメモ】



一 和田さんは、「和田さんに届いたメールの内容」を受けて、しゅうかいする内容を、次の「和田さんのメモ」のように整理しました。和田さんは、どのように整理しましたか。その説明として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 おたがいの学校の取り組みのよい点を比べて、伝えることを明確にした。
- 2 おたがいの学校の取り組みの問題点を比べて、伝えることを明確にした。
- 3 相手が知りたいことを取り入れて、優先して伝えることを明確にした。
- 4 自分が知りたいことを取り入れて、優先して聞くことを明確にした。

（2）算数

- 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を理解したり説明したりすることがよくできました。
- 日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係を考察することに課題がありました。

資料2は小学校4ー（3）の問題です。道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題です。道のりが等しい場合には、時間が短いほど速さが速いということに気付くことができるかがポイントです。

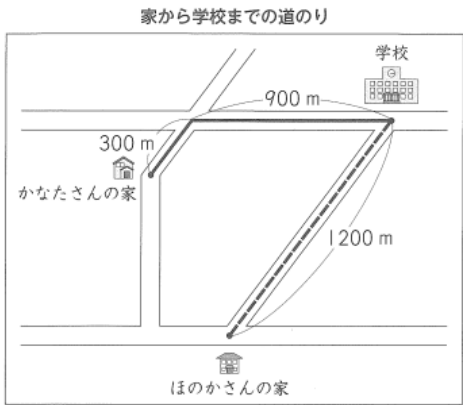
この問題の正答は1です。番号を選んだわけの書き方として、以下のAまたはBのいずれかで、それぞれA①、A②のすべて、またはB①、B②のすべてを書いている必要があります。解答をみるとA①の内容だけを書いた誤答が多くみられました。

- A①かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことを表す言葉や数
A②かなたさんがかかった時間が、ほのかさんがかかった時間よりも短いことを表す言葉や数
B①かなたさんの歩く速さを表す数や式、言葉
B②ほのかさんの歩く速さを表す数や式、言葉

日常生活で出会う様々な問題を解決するために、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を日常の中に生かしていくことが大切だと考えます。

【資料2】

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
- 2 ほのかさん

2. 質問紙から分かる伊豆市の子供たち

(1) 全国と比べてよさを感じた項目

- ・健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普段の生活に役立てている。
- ・先生は、あなたのよいところを認めていると思う。
- ・人が困っているときには、進んで助けている。
- ・学校に行くのは楽しいと思う。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- ・小5年生の時／中1、2の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週に3日以上使用した。



伊豆市の子供たちはどの質問項目もおおむね全国平均を上回っていました。教員や保護者、地域の皆様が子供たちに親身に関わってくださっている結果です。また、児童生徒は他者や地域のために自ら働きかけようとしていることがわかりました。「豊かな心」や「関わり合う力」が育まれていると感じます。

資料3をみると、伊豆市の子供たちは授業において一人一台端末を積極的に活用していることが分かります。



さらに、資料4をみると、学級の友達と関わり、自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりすることができている感じる子が全国平均を上回っていることが分かります。

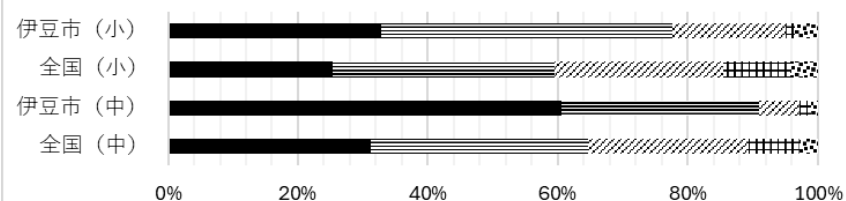
一人一台端末が導入され5年ほどたちますが、伊豆市では学び合いのツールとして端末が効果的に活用され、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながっていると考えられます。



【資料3】

小5年生／中1、2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

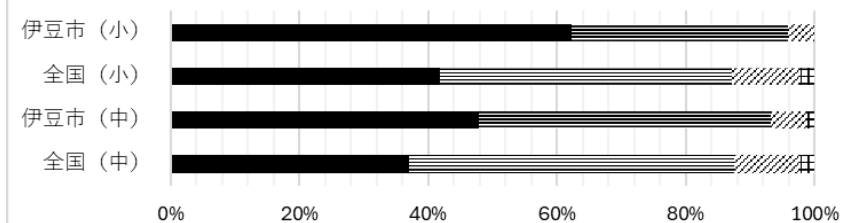
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ※ 週1回以上 月1回以上 ※ 月1回未満



【資料4】

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

■ とてもそう思う ■ そう思う ※ あまりそう思わない ± そう思わない



(2) 全国と比べて課題に感じる項目



伊豆市の子供たちは、全国と比べて課題に感じる項目が少ないです。自然と地域と関わり、健やかに成長していることが分かります。しかし、「ゲームの時間」については課題に感じられました。

- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

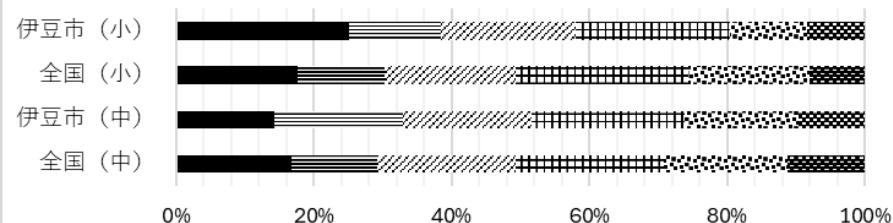
資料5から分かるように、小学校も中学校も3時間以上ゲームをする子が全国平均より多くみられました。学習もゲームも「～過ぎ」にならないように自分で計画を立て調整できる力を育んでいきたいと考えます。



【資料5】

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューター、携帯式、携帯電話やスマートフォンを含む）をしますか。

■ 4時間以上 ■ 3時間以上4時間未満 ※ 2時間以上3時間未満 ± 1時間以上2時間未満 ☆ 1時間未満 ✖ 全くしない

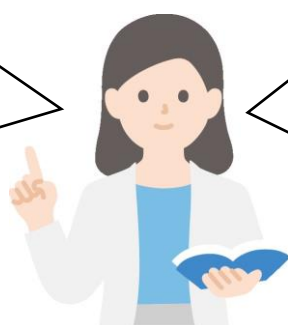


3. 家庭で大切にしたいこと

(1) クロス集計の結果から

※クロス集計とは2つのカテゴリ変数を組み合わせて同時に集計したものです。

質問紙調査「朝食を毎日食べていますか」と国語、算数・数学の正答率を集計しました。小・中学生共に、朝食を食べている方が正答率が高いことがわかりました。小学校では「朝食を毎日食べている」と答えた子は「朝食を毎日食べていない」と答えた子の約3倍も正答率が高い結果が出ました。しっかりと朝食を食べ、よい一日のスタートとなるようご協力をお願いします。



質問紙調査「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（中学生）」と国語、数学の正答率を集計したところ、起床時刻が安定していると正答率が高い結果が出ました。朝のリズムが整うことで、就寝時刻も安定し、一日の生活リズムが整います。